東大阪

発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6838号
〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル2F
編集 分室
電話：FAX（072）991-3908

八尾柏原支社
〒581-0016
八尾市八尾木北3-137
電話（072）993-2037

Tres bien,Inc.
multi-food-produce
会席・幕の内・各種出張パーティー
日本料理・フランス料理
(株)トレビアン
本店／〒581-0083
大阪府八尾市永畑町 1-2-40
TEL（072）991-6677㈹
FAX（072）993-3355

第5回　平成25（2013）年
枚岡神社　注連縄掛神事通称お笑い神事

（写真提供・沢 勲　大阪経済法科大学名誉教授）

笑い福注連縄授与所

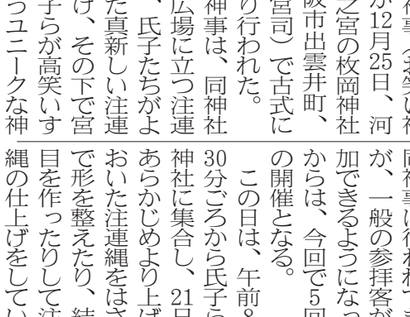
笑い福注連縄掛神事の準備中

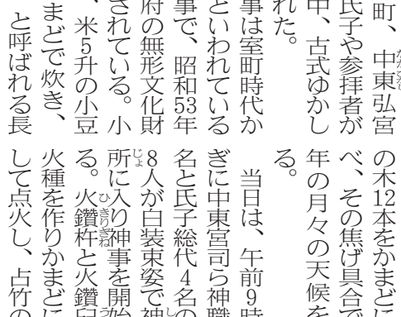
お笑い神事の世話人

笑い福注連縄掛神事の準備中

お笑い神事の元気な氏子様

お笑い神事の行事中


お笑い神事に参加した氏子と関係者らの大笑い光景


枚岡神社の宮司・禰宜・巫女様

枚岡神社禰宜と学会役員

枚岡神社宮司・元国会議員・学会役員

学会役員と巫女さんも大笑い

「アッハッハー」で幸運祈願

枚岡神社で注連縄掛神事―今年1年のいやなことを笑い飛ばし、新年の幸運を願う「注連縄掛神事（お笑い神事）」が12月25日、河内国一之宮の枚岡神社（東大阪市出雲井町、中東弘宮司）で古式にのっとり行われた。

この神事は、同神社の参道広場に立つ注連縄柱に、氏子たちがより上げた真新しい注連縄を掛け、その下で宮司や氏子らが高笑いするというユニークな神事。別名「お笑い神事」とも呼ばれ、市の無形民俗文化財に指定されている。古来より同神事は行われてきたが、一般の参拝客が参加できるようになってからは、今回で5回目の開催となる。

この日は、午前8時30分ごろから氏子らが神社に集合し、21日にあらかじめより上げておいた注連縄をはさみで形を整えたり、結び目を作ったりして注連縄の仕上げをしていった。注連縄は今秋刈り取ったばかりのワラを使い、長さはおよそ7m余りになる。完成した注連縄を氏子らがおよそ1時間程度で古いものと取り替えた後、白装束姿の宮司を先頭に氏子らが掛け替えたばかりの注連縄の正面に立ち、高笑いを開始。最初に中東宮司が「アッハッハー」と声を張り上げた後、氏子や参拝客らも大声で「アッハッハー」と高笑いし、これを3回繰り返した。その後、中東宮司が参拝者らに「無心で笑うと心の岩戸が開きます。笑いで日本を良くしていきましょう」と挨拶し、全員で20分間大笑いし今年1年を締めくくるとともに、来年の幸運を祈願した。

神事に参加した泉佳保子さん（東大阪市・52歳）は「お笑い神事には毎年参加しています。今年1年の感謝の気持ちと来年いい年になるように笑いました。もっと多くの方に笑う良さを知ってもらいたいです」と話していた。

枚岡神社
粥を炊いて農作物の豊凶・天候を占う

粥で占う今年の農作物の豊凶と天候を占う「粥占神事」が11日、河内国一之宮の枚岡神社（東大阪市出雲井町、中東弘宮司）で氏子や参拝者が見守る中、古式ゆかしく行われた。

同神事は室町時代から続くといわれている伝統行事で、昭和53年に大阪府の無形文化財に指定されている。小豆3升、米5升の小豆粥をかまどで炊き、「占竹」と呼ばれる長さ約15cmの竹筒53本を束にして沈め、占竹の中に詰まった粥の量で米や大豆などの農作物の豊凶を占う。また同時に、「占木」と呼ばれる長さ約15cmの黒樫の木12本をかまどにくべ、その焦げ具合で今年の月々の天候を見る。

当日は、午前9時過ぎに中東宮司ら神職4名と氏子総代4名の計8人が白装束姿で神饌所に入り神事を開始する。火鑽杵と火鑽臼で火種を作りかまどに移して点火し、占竹の入った釜の中をかき混ぜたりお湯を足したりして炊き上げていく。小豆粥が炊き上がると、神職が大祓詞を奏上して粥を清める。また、氏子総代らが占木をかまどにくべ、中東宮司がその焦げ具合を見ながら月ごとの天候を占う。その後、占竹の束は神殿に奉納され、本殿の前で宮司ら神職が占竹を割って中に詰まった粥の量で今年の農作物の出来具合を占った。

できあがった小豆粥は、今年1年の無病息災のご利益があると言われ、同神社敬神婦人会によって参拝者にふるまわれる。なお、結果は、15日の同神社で行われる粥占報賽祭で頒布される「占記」（一部100円）で発表される。

ようこそ花園（東大阪市）へ

盛り上った全国高校ラグビーフットボール大会
東大阪市長、議長が豚汁2000食振舞い手伝い

年末年始は聖地花園へ　全国高校ラグビーフットボール大会が開幕―第93回全国高校ラグビーフットボール大会が昨年12月27日、近鉄花園ラグビー場で開会し、周辺では大会を盛り上げる様々な催しや展示が行われ、訪れた人々を楽しませている。1月7日には決勝戦が行われ、東海大仰星（大阪第一）が7大会ぶり3度目の優勝を果した。

東海大仰星（大阪第一）が優勝

全国高校ラグビーフットボール大会の開幕日、近鉄花園ラグビー場がある花園中央公園では朝9時から、豚汁2、000食を野田市長や天野議長らも手伝いながら地元自治会の手で観客や選手たちに振舞われた。さらに、市では、同大会を盛り上げようと開催期間にあわせて、花園中央公園噴水広場に「東大阪ファンゾーン」を設置。ファンゾーンには、2019年ラグビーW杯花園開催に向けての署名活動を行うテントや来年1月にNHKで放映される地域ドラマ「花園オールドボーイ」の紹介ブースなどが設置されている。

紹介ブースには、ドラマの撮影風景の写真パネルや実際に使用された台本のほか、ヒロインの岡本玲さんが実際に着用したラガーシャツなどが展示されている。その他にもラグビーボールのオブジェを背景に記念撮影できるスペースなどもあり、ファンゾーンはラグビー観戦に訪れた人々で大いに賑わっていた。

また、27日・28日には、同市のマスコットキャラクター「トライくん」や同市立日新高校のマスコットキャラクターの「ひにアラタ」などのゆるキャラが集合し、高校ラグビー出場校への応援メッセージを披露したり、一緒に記念撮影をしたりすることができる。

さらに、ラグビー場隣の市民美術センターでは、歴代の大会の名場面などの写真をパネルで紹介した企画展示「ラグビー写真パネル展 青春スクラム・トライ 栄光のノーサイド」も開催されている。（全国高校ラグビー大会開催日の午前10時から午後5時まで。7日は午後3時まで）。入場無料。

また、ラグビー場周辺では、同市の地域まちづくり活動助成金制度を活用して設立された「ラグビーW杯花園開催誘致活動広報委員会（鈴村真琴代表）」が制作するビデオメッセージの撮影が行われた。同委員会は、誘致活動を市内外に周知することや、誘致に向けた市民の機運を高めることなどを目的に設立された。ビデオでは、野田市長や自治会関係者のほか、日新高校ラグビー部員などがボランティア活動を行う様子や花園開催への思いをこめたメッセージなどが紹介される。このビデオメッセージは、1月末に完成し、youtubeやFacebookで配信する予定。

布団太鼓台が地域伝統芸能まつりに出演

出雲井鳥居太鼓台保存会の布団太鼓台（東大阪市）が地域伝統芸能まつり実行委員会・㈶地域創造主催の第14回地域伝統芸能まつりに出演します。なお、フェスティバルの観覧は応募抽選により無料で入場できます。

●開催日
平成26年2月22日㈯、23日㈰両日とも午後2時30分開演
ただし、布団太鼓台は2月23日㈰に出演

●会場
NHKホール（東京都渋谷区）

●観覧の応募
平成26年1月31日（必着）までに往復はがき・インターネットにて地域伝統芸能まつり観覧事務局まで応募

●インターネット
http://www.jafra.or.jp/matsuri/

●主催
地域伝統芸能まつり実行委員会・㈶地域創造

●お問い合わせ
ハローダイヤル　03―5777―8600

岩手・宮古市の副市長が野田東大阪市長に職員派遣お礼に

職員派遣の感謝と今後も変わらぬ支援を岩手県宮古市の副市長が野田市長を表敬訪問―東大阪市の土木職員を東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県宮古市へ派遣したことを受けて、宮古市の名越副市長が16日、東大阪市役所を訪れ感謝の気持ちを野田市長＝右＝に伝えた。

東大阪市では、全国市長会からの要請を受け、被災地で復興事業に従事する職員を派遣している。これまでには、平成23年9月1日～9月30日と平成24年3月1日～3月31日の2回、同期間とも岩手県大槌町に1名ずつ保健師を派遣した。また、今年4月には、宮古市に任期1年の予定で土木職員1名を派遣している。この職員は現在、宮古市において主に道路の設計や工事の管理などの業務を行っている。

この日、市役所を訪れた名越一郎副市長は、出席した野田市長や高橋副市長らに災害当時庁舎の1階が津波で水没し身動きが取れなかったことや、仮設住宅の設営に苦心を重ねたことなどを話した。また、名越副市長は「この度は職員を派遣していただき、誠にありがとうございました。震災当初から続く緊張が少し落ち着いてきましたが、宮古市の職員も溜まっていた疲労が出始めています。これからも職員派遣などの支援をよろしくお願いします」と話し、野田市長は「被災地に赴くことは、本市に帰ってきてもいい勉強になります。内部で調整を行い、市としても前向きに考えていきます」と話していた。

今後、名越副市長は職員派遣の感謝や継続した支援の要望を行うために、宮古市長らと分担して全国の自治体を訪れる予定。

泉佐野市制65周年・MBPりんくう
開設1周年記念競走
1月 18(土) 19(日) 20(月) 21(火) 22(水)
主催／大阪府都市競艇組合
■早朝前売発売 午前7時30分開始
暴力団関係者・ノミ屋等の入場お断り！
BOAT RACE 住之江

住宅型有料老人ホーム
フォーユー八尾
介護ヘルパー募集！
お気軽にお電話ください。
TEL.06-6535-5501（松田）
施設運営　日健マネジメント
居室数50戸　入居相談・受付中
お問い合わせ・資料請求・受付窓口　【営業時間／9:00～17:00】 ◎お気軽にお問い合わせください。
0120 FreeDial 0120-49-5502

安心
入居費用　敷金 0円
介護度の重い方も、ご相談ください。
月額費用 108,000円
※入居条件：要介護1～5、65歳以上の方
内訳
家　賃/42,000円
管理費/24,000円
食　費/42,000円
充実
サポート！
ご高齢の方が、安心、快適に暮らせる バリアフリー設計
24時間スタッフ常駐
専門の食事会社による食事提供など、万全の生活サポート!!
有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など
関西にて、他21施設運営
ホームページURL　日健マネジメント　検索　日健マネジメントで検索して下さい。http://www.nikken-m.jp/
現地案内担当　八尾市老原 1-44　小山 博（河内新聞社長）090-8213-4712
大阪府八尾市老原4丁目98番地
JR関西本線（大和路線）「志紀」駅徒歩約15分

八尾柏原版

八尾柏原支社
八尾市八尾木北３－137
電話（072）993-2037
FAX（072）993-2037

八尾でひと足早い福祈願

八尾天満宮で「八日戎」が開催

八尾の新春の行事として市民に親しまれている「八日（ようか）戎」が、1月7日・8日の2日間（両日とも午前10時～午後9時）、八尾天満宮（菅尾龍太宮司、八尾市本町4丁目）内にある八尾戎神社で行われた。

八日戎は八尾の「八（はち）」にちなんで昭和34年に始まり、毎年1月7日の宵戎と8日の本戎の2日間行われ、ひと足早い「えべっさん」として親しまれている。

ちょうちんなどで飾り付けられた参道では「商売繁盛で笹持ってこい。福笹、吉兆は八尾戎」と呼び込みが流され、福を求める大勢の人で賑わった。

参道沿いに、八尾母子寡婦福祉会の福アメの店や露店などが並び、白の千早に金の烏帽子の華やかな衣装の福娘が、福笹や福熊手などを参拝者に販売した。

例年、千両大判などの縁起物が付いた福笹セット（2000円）や福熊手（2000円～）などがよく売れている。福笹や福熊手などを買った人は、自転車や魔法瓶などの景品が当たる空くじなしの福引きもでき、運だめしにと楽しむ姿が見られた。

今年の福娘は、八尾戎神社主催の福娘コンテストで選ばれた5人。福娘の一人である進藤理恵さんは「今まで八尾で育ってきたので、恩返ししたいという気持ちで応募した。皆さんに福を授けて、自分も幸せになれれば」と話していた。

縁起物を受け取る参拝者

福娘に選ばれた５人

年賀交礼会で挨拶する田中誠太八尾市長（中央）

八尾市 新春の年賀交礼会開催

交流を深め、発展を祈念

平成26年、午年の年頭を飾る年賀交礼会（八尾市・八尾商工会議所共催）が、1月6日、八尾市立総合体育館（八尾市青山町3）のサブアリーナで開かれた。政界、産業界をはじめ、市民団体や市政功労者、市関係者など、市内外から約700人の来賓が一堂に会して、新年の挨拶を交わし、交流を深めるとともに今年一年の互いの活躍と八尾市の発展を祈念した。

各界の関係者 約700人が一堂に会す

開場時には、交礼会の会場となるサブアリーナの入り口で、田中誠太八尾市長と中西啓詞八尾商工会議所会頭らが、入場する来場者に新年のお祝いの言葉をかけながら出迎えた。その後、午前11時より交礼会は始まった。

来賓の中には、谷畑孝・三宅博の両衆議院議員や八尾市選出の大阪府議会議員ら政界関係者の姿も多く見受けられた。

開式では、冒頭、田中市長が「昨年は、八尾スタイルの地域分権を進め、各地域でまちづくり協議会が設立された。地域のみなさんが主体となり、行政と力を合わせ、さまざまな地域課題を解決する原動力となった。それを更に推し進めていくためにも、今年は非常に大事な年であり、みなさんとともに努力していきたい」と今年の市政にかける思いを力強く訴えた。

また、中西会頭も「大企業を中心に全体的に景気は回復してきているが、中小企業にとってはまだまだ道半ばといったところである。みなさまから喜ばれ、信頼される商工会議所を目指したい」と今年の抱負を語った。

その後、どいた隆行八尾市議会議長による乾杯の発声が行われた。

新春の華やかな雰囲気の中、約1時間にわたり、各界の関係者らが挨拶や交流を和やかに行った。

会の最後には参加者全員で万歳三唱を行い、参加者らは今年一年の活躍と発展を誓い合った。

八尾市から食料品スーパー経営企業に感謝状贈る

障がい者らにクリスマスケーキとみかんをプレゼント

八尾市役所で12月19日、八尾市内の障がい者らの支援に役立ててほしいと、佐竹食品株式会社（吹田市、梅原一嘉代表取締役社長）から、クリスマスケーキとみかんが八尾市に寄附され、田中誠太八尾市長が同社に感謝状を贈った。

佐竹食品株式会社は、吹田市を中心として、八尾市内でも1店舗を出店している食品スーパーマーケット「フーズマーケットサタケ」などを経営する企業。同社はこれまで、福祉活動の一環として、八尾市をはじめ、吹田市や摂津市等を通じてそれぞれの市内の福祉施設に慰問をかねて、スイカやみかん、クリスマスケーキ等を寄贈している。

今回、八尾市の障がい者らの支援をしたいと同社から寄附の申し出があり、市内の障がい者施設25施設に対し、クリスマスケーキ143個とみかん143箱が寄附された。

同社からは、今年7月にはスイカ72箱、玉数にして144玉、昨年12月には、クリスマスケーキ140個とみかん140箱の寄附を受けている。

同日、八尾市役所1階ロビーにクリスマスケーキとみかんが運び込まれ、市内の障がい者施設の関係者らが次々と受け取りに訪れた。クリスマスケーキとみかんは施設でのクリスマス会などで利用者らに振舞われた。

感謝状の贈呈式には、同社取締役部長の浅田嘉一さんらが出席。浅田さんは、田中市長に「今年も市内の障がい者の皆さんにぜひお召し上がりいただきたい」と話し、目録を手渡した。田中市長は「毎年心温まるプレゼントをいただき感謝申し上げます」と浅田さんに感謝の言葉を述べ、感謝状を贈呈した。

贈呈式の様子

浅田嘉一さん（左）と田中誠太八尾市長

子供から大人まで
１人で楽しく遊べる

脳の活性・開発・思考力強化、ボケ防止（予防医療の一助になる）等々を目的とした数字ならべパズル

企画立案・製作・販売
「自己啓発」
潜在意識開発　松茂良興治事務所
八尾市福万寺町南６－２－３　072－922－3933

1	2	3	4	5
10	9	8	7	6
11	12	13	14	15
20	19	18	17	16
21	22	23	24	

1	16	15	14	13
2	17	24	23	12
3	18		22	11
4	19	20	21	10
5	6	7	8	9

連載小説

ウクライナを歩く――❶

小野元裕

これが革命なんだ。2013年12月、ウクライナの首都キエフの中心にある独立広場に立ち、人びとに押されつつ思わず口から出た。

2004年のオレンジ革命にはどこか和やかな雰囲気があったが、今回は違う。冷たく厳しい風が吹いてる。

大きな舞台を作り、昼夜問わず演説、歌が繰り返されている。ウクライナ人は自分たちの思い、怒りを歌にして訴える。ロシアに押さえつけられてきた歴史。そのなかで苦しんだ人びと。1991年に掴んだ独立。オレンジ革命。そして、このままだと再びロシアに従属しそうな現状……。

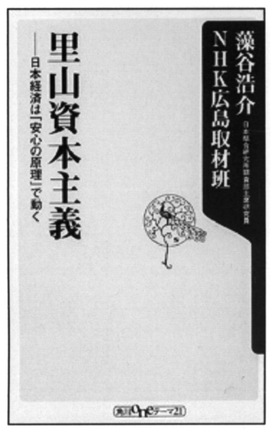
EUをめざしていたウクライナ。ところが、ここにきてヤヌコビッチ大統領がロシアと手を結んだ。ウクライナはコサックの国。人びとは怒り、立ち上がった。「ウクライナ革命！」と盛んに叫び、EU入りを強く訴える。

独立広場をバリケードで封鎖し、ここでヤヌコビッチ大統領に対する抗議活動が行われている。砂袋に雪を詰めて積み上げ、水をかけて固めたバリケード。そのなかに100万人が集い狼煙を上げた。大阪で例えるなら、JR大阪駅前で、東は阪神百貨店、西は中央郵便局、南は丸ビルの一帯が人で埋め尽くされている。一眼レフカメラと小型ビデオカメラを持ち、その中へ入った。まさに革命の中へ。

零下5度なのに独立広場は熱気で満ちている。人びとの怒りは最高点に達しているのだ。

e-「本」のちょっと　第４回

ブックソムリエ　石河亮平



著者の紹介

1964年、山口県生まれ。88年東大法学部卒、日本開発銀行現、㈱日本政策投資銀行に入行。現在、同行特任顧問、㈱日本総合研究所調査部主席研究員。地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。著書『デフレの正体』（角川oneテーマ21）は50万部のベストセラー。

今回のテーマ

瑞穂の国の秋に思う

実りの秋一色の京都・錦市場の魚屋で合格祈願の「お守り」が売られていた。イイダコの丸煮に人だかり。なんで？　タコはオクトパス、試験にパスするからだという。遷宮で賑わった伊勢神宮。天照大御神に新穀を供えて豊穣に感謝し、翌年の豊作を祈る10月の神嘗祭(かんなめさい)に続いて11月は宮中で 新嘗祭(にいなめさい)が行われる。古代稲研究家・田中伸侍氏は本紙に「日本の文化や伝統、歴史、日本人の資質が田んぼの中にぎゅーと凝縮されており、お茶碗一杯の米粒の数は稲１株に相当する約2000粒」と述べている。新米に感謝したい。

『里山資本主義――日本経済は「安心の原理」で動く』

藻谷浩介　NHK広島取材班
角川oneテーマ21　定価820円（税込）

なぜおすすめか

本書はNHK広島取材班が藻谷氏と１年半にわたり取材・制作したものを書籍化。2008年秋のリーマンショックによる経済危機の本質とは何か、が発想の原点。米国の金融街から自動車産業に象徴される「マネー資本主義」を追跡、中国地方の山あいの自然豊かな農村に暮らす元気で陽気なおじさんたちの行動に「里山資本主義」を見出す。取材はロンドン、イタリア、オーストリアで見る都市万能生活から田舎回帰の生活を紹介し、高齢化（者）社会が日本を元気にすると日本経済再生策の数々を提言する。ドキュメンタリー映像を文字化したものだけに取材現地を想像することができる。成熟社会のあり方を教えられる濃厚にして貴重な一冊だ。

主な内容を「ほんのちょっと」紹介すると

①里山資本主義は経済的な意味合いでも「地域」復権の象徴である。排他的な自己完結型ではなく、むしろ「開かれた地域主義」を意味し、自分たちに必要な知恵や技術を交換し、高め合うという「しなやかさ」が重要。

②岡山県真庭市の製材会社の「木屑によるバイオマス発電」、広島県の庄原市人口４万人のうち65歳以上の高齢化率40％における豊かな暮らしをもたらせた「エコストーブ」など世界経済の最先端を取材する。

③21世紀先進国は人口1000万人のオーストリア。ユーロ危機と無縁だった国の秘密は里山資本主義だった。国土は北海道と同じで、最も木を大切にしている森林先進国。どの家庭も10年前からガス・石油から薪に切り替え、林業が雇用と税収をもたらし、今や若者が集まる最も格好いい最先端産業国に生まれ変わった。エネルギー量の28.5％は再生可能エネルギー。他にロンドンやイタリアでは高層木造建築が盛んだという。

④「里山資本主義」の極意、マネーに依存しないサブシステム。持つものはお金ではなく人との絆と自然とのつながりにより貨幣換算できない物物交換の復権を果たす。山口県南東部の周央大島を目指す若者たちが増えて新たなビジネスが盛んだ。費用と人手をかけた田舎の商売（原価ゼロから経済再生）の成功例を取り上げる。

蛇足ながら『限界集落株式会社』（黒野伸一著、小学館文庫）が面白い。東京のIT企業を退職、ふる里に帰った主人公・優が見たのは行政からも見放された休耕田と高齢化した限界集落だった。訳ありの若い男２人と女の１人が営農研修でなれぬ手つきで鍬を持って汗を流していた……。過疎、減反、高齢化、雇用、食料自給、行政、起業プランなどを絡ませながら田舎の３世代家族と都会人の交流がドラマチックに展開、そして新しい地域ができた。若者が〝そこ〟を越えた。『里山資本主義』のエンターテインメント版だ。

施設をご利用のお客様へ

改修工事に伴う休館のお知らせ

いつも八尾プリズムホールをご利用いただきありがとうございます。
プリズムホールでは、空調熱源機器更新工事に伴い、平成25年11月18日（月）～平成26年3月31日（月）の間、全館臨時休館いたします。
皆様方にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
なお、休館中もご利用に関するお問い合わせや平成26年4月以降の施設のお申し込み受付を行っております。
※休館中の１階お客様窓口の営業時間は、月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）と年末年始のお休み以外の９：00～17：00に変更させていただきます。

▶施設利用に関するお問い合わせ
プリズムホールお客様窓口　ＴＥＬ：072－924－5111
▶工事に関するお問い合わせ
八尾市文化国際課　ＴＥＬ：072－924－3909

PRISM HALL
八尾市文化会館

栄養補助食品
天然素材100％使用
グリーンミネラル
自然の微量元素がいっぱい
スギナ　ヨモギ　モロヘイヤ
粒タイプ　100ｇ
￥3,150（税込）
（有）ライヴグリーン
TEL 072-923-5517

企業経営者で阿闍梨の著者が説く人生論。現代人必読の書。
らしく生きる
松茂良興治 著
B6判192頁並製本
定価：1575円（税込）
発行：ドニエプル出版
発売：新風書房
全国書店で発売中
問い合わせは
松茂良興治事務所へ
TEL 072-922-3933

沖縄特選
琉球王朝時代より愛されている安全・安心な食物素材の
活力青汁
ビタミン主要元素90.7％含有
90ｇ（3ｇ×30包）5250円（税込）
日本マーキュリー ヘルスケア事業部
お問い合わせは
東大阪新聞 八尾柏原支社へ
TEL/FAX 072-993-2037

親孝行出版のすすめ

「孝行のしたい時分に親はなし」と言われます。
親が亡くなってから、もっと話を聞いておけばよかったと思う人は少なくありません。まだ親が元気なうちに話を聞き、形に残すことで親孝行ができます。また、子どもである自分の存在の貴さを改めて確かめることができ、いのちのバトンタッチを末代まで残せます。
プロのライターがインタビューし、熟練の編集者が編集し、本格的な印刷のうえ上製本（ハードカバー）に仕上げますので、安心してお任せ下さい。心を込めて、永遠に残るあなたの財産をお作りします。

《基本設定》
A５判32ページ上製本（ハードカバー）、布表紙に金（または銀）箔押し
モノクロ写真10枚挿入　インタビュー時の肉声入りＣＤ付き
制作部数10部　出版費用50万円（税別）

わが人生　細羽芹司 著　上製本
＋
わが人生　声 細羽芹司　肉声入りＣＤ

ドニエプル出版　〒581-0016 八尾市八尾木北3-137 TEL･FAX 072-993-2037